

# 2024年度 特別養護老人ホームなごみ（入居）事業計画書

## 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】年間算見込み：15,700万円（処遇改善加算込み） 年間平均稼働率：98.5%

- ・入居の定員数を30名から32名に変更している。そのことで、経過的小規模から従来型に変更になり、一人当たりのサービス費は減少するが、短期入所での空室を抑えられることにより、安定した収入が見込まれる。入院時は稼働率の低下を防ぐため、短期入所に利用できるようにアプローチを行う。
- ・処遇改善加算の加算率が14.0%に改定することで、年間300万程度収入増になる見込み。

## 2. 職員（育成・研修など）

- ・2023年度は、退職する職員が相次いだこともあり、ユニット、全体会議のような、なごみ全体の事や支援について対話する機会が減ったことで、職員一人ひとりが支援に対しての意識が下がっていることが課題と捉えている。
- ・2024年度も人員不足が継続する可能性があり、ユニット、全体会議が開催できなくても、支援に対しての意識を下げない為に、平時から対話の出来るチーム作りを築く必要があり、「対話の出来るチーム」を意識して、ユニット編成を行いたいと考えている。
- ・研修については、中堅職員・専門職、それぞれに研修の担当を担ってもらい、研修動画を作成していく。

作成した動画をユニット会議などで全職員が研修を受講できるようにしていく。また、研修を担当してもらうことで、それぞれのステップアップにも繋がると考えており、今後新しい職員が入社した時にも使用していけるようにする。

## 3. 事業内容（企画）及び年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	・造幣局・ユニット花見・なごみ感謝祭 ・全体研修「今年度の方向性について」	10月	・動画研修「リスクマネジメント研修」
5月	・母の日 ・動画研修「口腔ケアについて」	11月	・秋の遠足 ・動画研修「感染症の予防と対策」
6月	・父の日 ・動画研修「認知症について」	12月	・忘年会・家族会 ・ユニットリスク研修「SHELIC分析」
7月	・動画研修「食中毒の予防」 ・避難訓練（日中想定）	1月	・初詣 避難訓練（夜間想定） ・動画研修「ターミナルケア」
8月	・納涼祭（花火大会） ・動画研修「身体拘束の排除」	2月	・実践研修「感染症・BCPシミュレーション」
9月	・敬老の日 ・動画研修「高齢者虐待の防止」	3月	・ふらっと楽しむ住吉参加 ・全体研修「年度総括・次年度に向けて」

## 2024年度 特別養護老人ホームなごみ（短期入所）事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 稼働率98% 収入予算1,380万円

- ・2024年1月15日より、定員が5名⇒3床に変更となる。その為、前年度より収入減は否めない。3床での稼働となる為、今まで定期的に利用されていた方々に対しても、少し利用日数を減らす等して、満遍なく利用できるよう調整を図っていく。
- ・サービス提供体制強化加算Ⅲ⇒Ⅱに変更をすることにより、約10万円の収入アップの見込み。
- ・緊急利用の要請があれば、受入できるよう現場と調整を図っていく。（入院部屋の活用も同様）

#### 【支出項目特記事項】

- ・空気清浄機（加湿器付）の購入（前年度の繰越）3台15万円（1台5万円）

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・特養（入居）同様
- ・電話対応・入所退所の処理ができる職員の育成及び確保

### 3. 事業内容（おもな企画）

- ・特養（入居同様）

## 2024年度 なごみデイサービス（通所介護）事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算：60,000,000

平均稼働率90%を目指し、予算達成することを目指す。

#### 【支出項目特記事項】

- リフト浴槽故障時の修繕費用
- ・リフト昇降部分の交換：10万～20万
  - ・浴槽、椅子以外の部品全交換：30万～40万
  - ・全交換：200万

### 2. 職員（育成・研修など）

○個々人のスキルや能力、経験を最大限に発揮し、目標達成できるチーム作り  
パート2等級の人選（長谷田、門野）業務分担、明確化を図る。

アシスタント職員含め仕事の幅を広げていくと共に人材育成を図り、全体の能力向上を図っていく。

○コミュニケーションの活性化

日常会話、ミーティング、会議を充実しマインドセットの形成とチームビジョンの浸透を図る。

### ○部門内研修の実施

内部研修を通して個別支援を深め、実践に結び付けていくことを目標。

### ○個別援助計画書の作成（展開）と実践

PDCA サイクルを視覚化していく為にも、個別援助計画書を活用していく。自部門の現状分析を通して課題抽出を行い、課題解決に向けた計画を作成、実践、課題解消を図るとともに個々職員のスキルアップを目指す。

## 3. 事業内容（おもな企画）

今年度は、地域交流を目的とした取り組みを行い、なごみデイのことをより知っていただく機会を増やしていく。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	お花見	10月	保育所交流会、秋の遠足
5月	端午の節句、菖蒲湯、母の日	11月	文化の日、住吉区総合防災訓練
6月	保育所交流会、父の日	12月	クリスマス会、ゆず湯、年末入浴
7月	七夕まつり、流しそうめん、防災訓練	1月	新年会
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会、秋の遠足	3月	ひな祭り、ふらっと楽しむ住吉、防災訓練

## 2024年度 なごみヘルパーステーション（訪問介護） 事業計画書

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

職員体制が整わず新規受け入れも難しい状況が続いてる

産休・育休明けの職員が5月ごろには復職予定、職員の体制が整えば新規の受け入れも対応していく

#### 【支出項目特記事項】

補助金申請が受理されたため2023年度末にICT（careパレット）導入記録用紙の印刷代や5年経過の記録用紙の廃棄をオガリ作業所に依頼していた経費は削減となる

災害時備蓄品等の補充

### 2. 職員（育成・研修など）

1月より新入職 ヘルパーの新人研修

毎月の学習会

法人研修

### 3 事業内容(おもな企画)

懇親会  
お疲れさん会

#### 年間事業計画(予定)

月	内容		
毎月	ヘルパー学習会		

## 2024年度 なごみケアプランセンター(居宅介護支援)事業計画書

### 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】 予算：10,000,000

### 2. 職員(育成・研修など)

○ケアマネジャーの入職

- ・願わくは主任ケアマネ1名入職頂き、事業所加算の復活。
- ・ケース数の増加

○可能な範囲での研修や集まりへの参加

- ・ゾーン会議・自立支援型ケアマネジメント小会議・なごみーていんぐ・居宅部会、在宅医療介護連携事業、大阪市老人福祉施設連盟などが企画する研修への参加。

### 3. 事業内容(おもな企画)

- ・ケース数の維持、ケアマネジャー増員が伴えば積極的な新規受け入れ
- ・迅速、丁寧な関りを深め地域の相談窓口を目指す(利用者アンケートの取組)

#### 年間事業計画(予定)

月	内容		
4月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議	10月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議・品質向上月間
5月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議	11月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議・品質向上月間・住吉区総合防災訓練
6月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議	12月	なごみーていんぐ
7月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議・防災訓練	1月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議
8月	なごみーていんぐ	2月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議
9月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議	3月	なごみーていんぐ・自立支援型ケアマネジメント小会議・防災訓練

# 2024年度 小規模多機能型居宅介護きずな 事業計画書

## 1. 収支(予算)7500万

### 【予算収入と根拠】

4月開始 25名登録のスタート予定（現在頂いている新規相談次第では増あり）である。新規相談においては、登録状況に伴う現場体制を見ながらの受け入れを行っていく。具体的な数字としては、月次で610～650万円の達成を目指す。また、4月の報酬改定に伴い、基本報酬、加算の変更がある。収益増となる見込み。

### 【支出項目特記事項】

- エアコン2台（居室）150,000
- 収納関係（書類管理含む）80,000
- ソファベッド（居間）70,000
- 防災対策及び備蓄品関係（備蓄利用者立替分含む）150,000

## 2. 職員（育成・研修など）

- これまで同様「最期の時まで住み慣れた地域で暮らし続けたい」に伴走できる様に、研修や日常の気づきの共有からの学びによる更なるチーム力の向上を目指していく。
- 部門内研修の強化（年8回 プライバシー保護・倫理法令順守・事故防止・緊急時対応・感染症食中毒・認知症ケア・身体拘束の排除・非常災害時の対応）、3カ月に1回のきずな独自の防災（BCP計画・火災・地震想定）訓練の実施を通し、職員個々（主に日勤リーダー職）の場面に対し考え状況判断できる力の底上げを目指していく。

## 3. 事業内容（おもな企画）

昨年度上半旬にコロナも5類になったとはいえ、感染対策予防を引き続き行いながらの生活にはなる。ご利用者においても様々な生活行動に変化が起きたが、その中でも変化しつつ、ご利用者にとって生活の活力となる楽しみを一緒にみつけていきたい。特に、地域及び他機関（医療含む）と連携を行い、住み慣れた自宅、住み慣れた地域での暮らしに共に伴走し、ご利用者との関わりを通し、その声に対し、【時 場 関係】の捻出を行っていききたい。また、地域との協働においては、目的を明確化し、地域の中にあるもう一つの家としての役割を遂行していきたい。誕生日企画については、これまでも好評の声 素敵な笑顔を沢山頂いており継続して行っていく。「日常」の生活活動についても更に考え行動していく事が求められる。特別ではない「日常」からの伴走が出来るきずなへと進めていきたい。

## 4. 年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	さくらまつり	12月	きずなバザー
5月	きずな誕生日祝い	12月	忘年会
7月	保育所交流会	1月	正月 初詣
8月	サマーカーニバル	2月	住吉小学校交流会

# 2024年度 小規模多機能型居宅介護 であい 事業計画書

## 1. 収支(予算) 6,800万

### 【予算収入と根拠】

2023年度は最終6,750万ほどの収入を見込んでいる。2024度は介護報酬改定や加算変更があり、少し収入増が見込める算段だが、2023年の後半は登録者の介護度が下がった方が多く、収入減が大きくあった。そのため改定による収入の増加があるものの年間通して今年度より増額を見込むことは困難である。

予算6,800万は平均して567万/月前後の収入が必要となる。

2023年度末時点での登録者は25人となるが上記記入のように、平均介護度が低いため、収入が高くなるのが難しい現状がある。区分変更等による介護度の見直し含め対応していく。部門の特性として、登録の入れ替わりが多く現場と負担感と収入が比例しない感覚がある。しかし現状の稼働率を維持するためには、短期間の入れ替わりも込みで新規ケースを受けていくしかない状況なので、運営面の課題も共有し維持していきたい。

### 【支出項目特記事項】

冷蔵庫 250,000円 (故障したら。開設当初から使用)

テレビ 120,000円 (故障したら。開設当初から使用)

ベッド入替 150,000円

掃除機 25,000円

DVDプレイヤー 10,000円

たこやき機 10,000円

Wi-Fi導入(館内全体) 2,000,000円 (助成金の活用を思案)

## 2. 職員(育成・研修など)

必須研修は動画視聴も含め、実施できるように年間計画を作成し実施していく予定。認知症研修は複数回実施していきたい。

非常勤職員のヒヤリングがなかなかできていなかったため、1回/年は行い、課題の明確化とモチベーションアップに繋げることで、個の力を上げ、チーム全体の底上げをしていきたい。

外部研修については可能な限り参加していく。案内等確認し決裁を上げていく。

## 3. 事業内容(おもな企画) 年間事業計画(予定)

月	内容	8月	大領小サマーカーニバル・盆踊り
4月	花見	9月	敬老の日
5月	開設記念 感謝祭	10月	ハロウィン
6月	遠足	12月	忘年会・利用者アンケート
7月	七夕	1月	お正月

# 2024年度 部門 グループホームであい(共用デイ含む) 事業計画書

## 1. 収支(予算) 4900万

### 【予算収入と根拠】

今年度は介護報酬改定や加算変更、処遇改善の改訂があるものの、改訂による収入の増加は1人の入居者あたり7,000円程であり、月5,6万程。おやつ・朝食代をそれぞれ増額(200⇒300、100⇒150円)する予定。その増額が年50万円程。

2023年度は最終4900万越えの収入を見込んでいる。2023年2月からは入居者7名となり、大きく増加は見込むことが難しい。早期に1名の新規入居も獲得しないと4900万も難しい数字となる。

ショートを受け入れ開始とデイの新規獲得も含め、相談には対応していく。

### 【支出項目特記事項】

冷蔵庫 250,000円(故障したら。開設当初から使用)

ホットプレート 15,000円

お客様用スリッパ 10,000円

トイレ便座6か所 180,000円

網戸 200,000円

レターBOX 10,000円

Wi-Fi導入(館内全体)2,000,000円(助成金の活用も思案)

タブレット導入(初期投資)50,000円、契約5年で70,000円

## 2. 職員(育成・研修など)

必須研修は動画視聴も含め、実施できるように年間計画を作成し実施していく予定。

非常勤職員のヒヤリングがなかなかできていなかったため、1回/年は行い、課題の明確化とモチベーションアップに繋げることで、個の力を上げ、チーム全体の底上げをしていきたい。

外部研修については可能な限り参加していく。案内等確認し決裁を上げていく。

必須の委員会も年4回行う。

## 3. 事業内容(おもな企画)

### 年間事業計画(予定)

月	内容	10月	ハロウィン
4月	花見	11月	紅葉狩り
5月	開設記念感謝際 菖蒲湯	12月	忘年会・利用者アンケート
7月	七夕・夏祭り	1月	お正月
8月	大領小サマーカーニバル・盆踊り	2月	バレンタイン
9月	敬老の日	3月	雛祭り

# 2024年度 住吉区北地域包括支援センター 事業計画書

## 1. 収支(予算)

### 【予算収入と根拠】

大阪市からの委託事業のため、委託費が収入となる。

### 【支出項目特記事項】

自転車、椅子、ロールカーテン等、備品の買い替えを検討している。

2023年度末にて、PCリース契約満期のため、新規契約しているが、物価高騰により月額リース料が増加している。

## 2. 職員(育成・研修など)

圏域内や一部委託先のケアマネジャーを対象として研修を企画する。包括職員も同様に参加し、学びの機会としていく。

その他、委託元の大阪市からの必須研修、介護保険事業者連絡会や認知症関連事業、在宅医療介護連携事業、市老連などが企画する研修へ参加する。

## 3. 事業内容(おもな企画)

状況として、総合相談件数の増加が顕著であり、取り組み内容の整理が必要と感じている。これまで続けてきている事業の目的と地域の状況(ニーズ)を振り返り、年間でバランスよく企画を組み立てていきたい。

2024年度の大目標は「高齢者が地域とつながることで参加の機会にでき、参加が難しくても地域であたたかく見守られて生活ができる」としており、包括が相談対応する高齢者が、介護保険による支援のみに限らず、地域とつながることでより豊かに生活ができるように支援を検討し、各企画を通じてそうした環境作りをしていきたい。

### ○現時点での主な事業として

- ・すみきち新聞の配布 区民・専門職向けの北包括独自の啓発物。主に権利擁護関連。
- ・なごみーていんぐ 圏域事業所主体の勉強会等の企画運営支援
- ・活動報告会、交流会 圏域内3エリアで開催
- ・ぶち健康まつり 介護医療関連の情報発信と高齢者の実態把握
- ・地域ケア会議の運営 振り返りと課題抽出も含めて計画的に開催
- ・家族介護支援事業 介護者、地域住民向けの企画運営
- ・老いと向き合う講演会 本人、家族への啓発、きっかけづくり
- ・出張相談/出前講座 生活支援COと連携して、計画的に企画検討する。
- ・なごみ体操教室等つどいの場づくり 地域のきっかけづくりとして情報発信

### 年間事業計画(予定)

月	内容	月	内容
年3回	北包括版 広報誌発行	6月～	家族介護支援事業
年2回	なごみーていんぐ主催研修	10月頃	老いと向き合う講演会
年3回	活動報告会(住吉、東粉浜、長居)	随時	出張相談会・出前講座
年2回	ぶち健康まつり	随時	圏域内事業所への研修や交流会
年4回	ふりかえりの地域ケア会議	随時	集い場づくり(体操教室など)

# 2024年度 じらふ障がい児通所支援 事業計画書

## 1. 収支（予算）

### 【予算収入と根拠】

契約利用者数 住吉27名、街道29名、住之江20名（2月17日現在）

※住吉には、リズムキリン利用者も含まれます。

今年度は、街道じらふが引っ越しをする事を前提に、4月から定員を埋める事を目指して利用児の班構成を見直した結果、まず住吉・街道の定員を満たす為の住之江からの異動や、住吉・街道間での異動調整を実施し、小学4年生から受け入れ、逆に住之江を空きがある状態で始める事にした。（ここ数年、小学校低学年の利用希望が多い為）

2024年度の報酬改定では、単価や加算が複雑で計算が困難な為、予算は例年通りの収入見込額を挙げ、それを目指して行きます。

（住吉）2700万円（街道）2700万円（住之江）2700万円

合計 収入 

8100万円
--------

※加算部分で、個別サポート加算Ⅰや強度行動障がい支援加算も収入に大きく影響する為、ご家族さんへの勉強会や加算申請の説明会等実施したり、相談支援事業所に再申請依頼する等行ない、どの現場でも一人でも多く加算が取得出来る様働きかけに努めます。受給者証更新の時期を把握し、申請前に家族へアプローチする事で、加算の取り消しを防ぐ対策も行ないます。

### 【支出項目特記事項】

・街道じらふの引っ越し費用、予算500万円まで。また、入居前工事～引っ越しに約1週間を要する為、それまでは現在の物件にて事業を提供出来る様、家賃の二重払いも想定しています。また、今年度から新たに難波特別支援学校や地域の小中学校を利用する利用児が増えるので、送迎での車両不足を解消する為、車両1台購入（リースで5万位）を予定（他部署と共用検討）

## 2. 職員（育成・研修など）

職員対象では、住吉・住之江区放課後等デイ事業所等連絡会【すみすみ】や自立支援協議会研修での外部研修に参加出来る機会を多く持つ。チームワーク作り強化で、デイ会議後に、隔週でワークを実施し、様々な意見を交換し合う。パートバイト対象では、デイ勉強会を今年度も実施し、ZOOMの活用などで参加率を上げる。日々の打ち合わせや振り返りを行ない、対応方法などの統一や支援の質の向上、改善などを行なう。職員で学んだPECSを現場で実践し、パート・アルバイトスタッフへ引き継いでいく。強度行動障がい支援者研修や、サービス管理責任者等の研修（5年ごと）。

### 3. 事業内容（おもな企画）

長期休暇期間は、毎日企画を実施し、調理・外出・工作などの体験を通して社会経験を積んでもらえるようにする。昼食調理や防災訓練は、各デイで毎月実施。季節の企画で、運動会・ハロウィン・クリスマス・節分・バレンタインなどの企画を行ない、季節を感じられる体験を提供する。今年度も外出企画を実施予定だが、今回は暑さ対策で秋を予定。また、企画等の写真をSNSに挙げ、活動報告、新規利用者やパート募集に繋げる。家族との連絡やり取りを密に行っていくため、情報発信のツール「LINE公式」を引き続き活用していく。防災訓練では、実際の被災想定で、住之江・街道は徒歩で学校や総センまで避難したり、住吉での一泊体験（状況付与）、緊急時災害伝言ダイヤル訓練など実施する。

#### 年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画（内部・外部）
4	春休み（デイ午前中から） メンバーさん新体制 4月1日～	デイ会議 支援計画会議	すみすみ研修
5	ゴールデンウィーク開所 （休日時間） ママレモンズ 街道じらふ引っ越し？	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・強度行動障害支援者養成研修・すみすみ研修
6	おやじの会・報酬改定6/1～ 第5土曜日特別企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
7	夏休み（デイ午前中から）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
8	夏休み（デイ午前中から） 第5土曜日特別企画	デイ会議	
9・ 10	ギャングスター企画 秋デイ外出・ママレモンズ	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会・児発管研修 すみすみ研修
11	第5土曜日特別企画 おやじの会	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
12	冬休み（デイ午前中から） サンタ企画	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
1	冬休み（デイ午前中から） ママレモンズ	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
2	2026年度メンバーさん決定 卒業パーティー（高3対象）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修
3	春休み（デイ午前中から） 卒業生を送る会（バイト対象）	デイ会議 支援計画会議	デイ勉強会 すみすみ研修

# 2024年度 部門 じらふ長居 事業計画書

## 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】 収入合計 22,054,907 円

○専門療育機関業務の収入 18,027,592 円【予算収入と根拠】

○じらふくらぶ&じらふっこの収入 3,517,807 円 \*専門療育利用者フォローアップ事業

○ぱぴぷぺ kidz の収入 203,803 円 \*専門療育外の親子療育

## 【支出項目特記事項】

- ・購入希望物品 (大型修理など)
- ・室内エアコン洗浄 220,000 円(税込み) \*小田沢設備の見積もり添付
- ・じらふ長居室内のダウンライトの交換。

## 2. 職員(育成・研修など)

- ・2024年度も引き続き、スタッフ(常勤、非常勤全て)間で、事業の目的や内容を共有できる場を定期的に持ち、支援の実践、振り返り、見直しを行っていく。
- ・常勤職員間では、【支援の中で大切にしていること】について意見交換、共有を引き続き行うと共に、地域の利用ニーズについても考える場を持ち、多くの方に利用していただける形を考え、実践していける職場風土を醸成したい。
- ・すみすみ研修。受講の調整を行い、支援スキルの向上に努める機会を持つ。
- ・法人研修、外部研修などから必須研修、支援スキル向上に必要な研修をピックアップして受講の調整を行う。
- ・現場内での勉強会も計画的に実施していく。専門療育では自閉スペクトラムに特化した支援内容となるため、メンバーさんに合わせた活動を計画していく中で、必要な支援スキルについて取り上げ、スタッフ間で学ぶ場を定期的に作っていく。
- ・サビ管研修、強度行動障がい研修については該当者がいれば適宜受講を調整する。

## 3. 事業内容(おもな企画)

- ・専門療育機関  
大阪市からの委託での実施。1年間の期間限定の利用となる。  
定員40名(未就学20名、学齢児小1~3年20名)。全20回利用、保護者研修10回実施。  
親子療育での利用となる。
- ・じらふくらぶ・じらふっこ  
専門療育終了後のお子さま、ご家族様向けのフォローアップとして、2023年度より実施。  
2024年度はじらふくらぶ枠にて20名、じらふっこ枠にて6名の方が利用予定。  
集団療育(最大5名程度)の活動で、月2回程度の利用で調整を進めていく。親子療育での利用となる。
- ・ぱぴぷぺ kidz  
専門療育以外での親子療育。専門療育の対象年齢より上の方、大阪市以外の利用希望の方、

- 専門療育前にプレ的に利用したい方など、それぞれのニーズに合わせての利用ができる枠。
- ・じらふ長居ご利用のご家族向けの集まる場を開催。お住いが遠方の方も多いため、ZOOMを使ったオンライン懇親会を定期的実施する予定。ママレモンズ、おやじの会への参加についても進めていく。
  - ・やんちゃな子育て広場  
1歳～2歳11カ月までのお子さまの保護者の方が対象の保護者交流の場。福祉制度の利用が無くても参加することが可能。  
2023年度に2度ほど実施。2024年度も不定期ではあるが開催し、地域の中の1つの活動の場として認知されるように努めていきたい。
  - ・法人内の支援者のスキルアップに関する企画や取り組みなどに、職員が率先して協力できるような職場環境を整えていきたい。

## **2024年度 じらふヘルパー(居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援) 事業計画書**

### **1. 収支(予算)**

#### **【予算収入と根拠】**

- ・2023年度と同様。

行動援護サービス提供責任者等の要件については、経過措置の延長もあり、2023年度と同様のサービスが提供できる。移動支援ヘルパーの獲得ができると収入もアップする。サービス提供責任者を1名男性職員に変更:加算の要件を満たす。

#### **【支出項目特記事項】**

- ・感染症対策グッズ(手袋・シューカバー)
- ・災害時グッズ(モバイルバッテリー:2023年度購入せず)
- ・熱中症対策グッズ(飲料、保冷シート等)

### **2. 職員(育成・研修など)**

- ・登録ヘルパーを含めた会議開催。  
支援の統一、登録ヘルパーとのコミュニケーションを図る。
  - ・法人研修、すみすみ研修などを中心に計画。すみすみ研修は登録ヘルパー含む。
  - ・登録ヘルパー向けの勉強会開催(ZOOM+現地):毎月(8月お休み)/基本編+実践編
  - ・「めざせ支援者の会」「PECSH」の開催。共通言語・理解を増やす。  
引き続き、他部署職員との関係づくりも含めて開催。
  - ・ヘルパー公式LINEの活用(利用者/登録ヘルパー)  
研修の案内、情報発信など。
  - ・ガイドヘルパー養成講座、めざせ支援者の会、勉強会などの講師として、  
人に伝える実践を通してスキルアップをめざす。
- \*今年度は、登録ヘルパーのスキルアップのため、個別でのやり取りを増やす。

### 3. 事業内容

- ・ヘルパーMT 開催：週1回。      ・支援計画会議開催：週1回ほど。
  - ・他部署との利用者会議開催。支援の統一、情報共有をはかる。
  - ・他事業所との担当者会議に参加。情報共有と顔の見える関係づくりをめざす。
  - ・キャンセル対応：粘り強く声かけを行う。
  - ・各担当業務の精査：サービス時間の確保
  - ・BCPをもとに防災訓練実施 + 災害時カード（仮）の運用開始  
災害時の対応について利用者にお知らせ実施
- <ヘルパー獲得に向けて>
- ・SNSアップ
  - ・学生確保のために、大学での広報先の確保と積極的な広報実施
  - ・法人内のイベントにて、ヘルパー相談会（仮）ブースの設置
  - ・ヘルパー体験会の開催：講座受講やヘルパー登録につなげる。

## 2024年度 障がいグループホーム（住吉）事業計画書

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

<だいくかのん> かのん 304 空きに関しては、7月より本入居 3190 万円

<あると> 前年度と大きな変化なし 1750 万円

<れんと> 前年度と大きな変化なし（1名区分2→区分3に変更）1100 万円

#### 【支出項目特記事項】

- ・昨年エアコン掃除（業者）を順次おこなうことができた。引き続き、住宅内の各所（風呂、トイレ、かべがみなど）の修繕を計画的に行っていきたい
- ・防災関係の備品

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・夜勤者確保は永続的課題（特定の夜勤者が月6～9回夜勤をする状態であるため、その夜勤者が体調不良で休むとなると、回らなくなる）
- ・夜勤者に向けた勉強会（3回）を行うことができたので、引き続きおこなっていく。世話人に対しては個別面談をおこなっていく。
- ・職員5名で業務分担し安定して行えるようになっている。引継等の漏れはあるもののカバーし合っている。月1回の会議は継続。
- ・研修についてはできるだけシフトを調整して参加できるようにしてきた。

### 3. 事業内容（おもな企画）

- ・1か月～1か月半に1回のペースで企画をおこなってきている。利用者同士の交流の場になり、企画準備や片付けまで利用者同士で声を掛けて行えたり利用者から企画案がでてくるこ

ともあった。引き続き利用者と一緒に考え実施していけるようにしていく。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		外出企画
4月	喫茶企画		クリスマス会
	銭湯企画		新春企画
	カラオケ企画		
	外食に行こう企画		

## 2024年度 障がいグループホーム（大領） 事業計画書

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

ひびき 1770 万円 かなで 1740 万円 NEW ひびき 1770 万円

#### 【支出項目特記事項】

- ・家電関係の不具合が生じる懸念あり。（電子レンジ、冷蔵庫、エアコンなど）

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・前年度は、専従職員が2名追加。兼務職員のシフトへの参入が不安定であり、兼務でなく「ヘルプ」枠としてしか機能せず。
- ・現時点で新たな人員の配置の見込みがない（+兼務職員の減）という点から次年度の体制もいっそう厳しいものになることが想定される。
- ・共働・連携のスキルアップ・各職員が（相談し合いながら）自立して業務遂行できる力、チームを目指していく。
- ・職員の身体的、心理的負担を軽減する取り組みの必要性も感じる。
- ・シフト上にも余裕はなく研修は残業になりやすい。  
スキルアップや支援の質向上のための視野形成には必要性を感じるが  
上記の職員負担の軽減の観点からも慎重なコーディネートが必要である。
- ・BCPに関連し災害時の対応は、拠点であるであいい部署間でのすり合わせを重視したい。
- ・住吉 GH との共働 継続すべき部分と、各々で動いていく部分との精査が必要。  
また夜勤者の確保、定着、質の向上については GH 全体の課題である。

### 3 事業内容（おもな企画）

- ・入居者全体・複数名での外出企画やイベントは、体制上困難。  
季節に応じた小規模な企画や個別企画の実施を継続していく。

## 2024年度 大領であい短期入所(SS) 事業計画書

### 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】

¥300,000

区分6の方1名(1泊:1178単位) 区分5の方1名(1泊:1032単位)

毎月1名ずつ のみの受け入れを想定。

### 2. 職員(育成・研修など)

・前年度、SS利用における遅出の入浴や朝の支度対応に GH 男性常勤+SS担当職員が対応。残業での対応になっていることが多い。

・夜勤パート職員に利用者情報を引継ぎ、対応に慣れてもらえた場合も

利用者の利用希望と慣れた夜勤パートの勤務希望の日程のマッチングの必要がある。

・また夜勤パート職員は数年ごとに退職(卒業)があり入れ替わりが激しい等 GH 夜勤パートが、1人でSS対応をすることへの課題への対策整理の必要あり。

## 2024年度 ふうが計画相談・地域活動支援センター事業 事業計画書

### 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】 合計:26,364,000円

計画相談:4,000,000円

地域活動支援センター:令和6年度委託費 22,364,000円

#### 【支出項目特記事項】

請求ソフト導入(決済承認済み)

タブレット(1台10万円×3台)・ポケットwi-fi(月4千円×3台)

### 2. 職員(育成・研修など)

**職員配置**:地活と計画相談の兼務。常勤4名+非常勤職員1人体制を想定。(当面は現体制を維持する)

**職員育成**:コロナ禍で停滞している地域移行支援を受けていけるように地域自立支援協議会や行政と連携していく。

日々の相談支援の情報共有を通じたOJTなどのケースワーク、ソーシャルワークの質の向上を図る。

**研修**:人権意識の醸成を図っていくためにも必要な研修は随時受講していく。

### 3. 事業内容(おもな企画)

【地域活動支援センター】「居場所」としてサロンを開放。毎月外食企画、法人内外・地域交流イベントなどへの参加、およびふうがプログラムへの参加案内を行う。

【地域移行など】地域移行は積極的に受け入れ。同時に地域内の受け皿を増やすために他事業所にもアプローチしていく。

【防災取り組み】事務局機能を継続。委員会を中心として法人内防災対策は継続。法人外には防災・減災取り組みの啓発活動を継続していく。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
定例	土曜に外食企画を実施		
秋頃	日帰りバス旅行		
秋頃	地活合同オンライン交流会		

## 2024年度部門 オガリ作業所 生活介護 事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 8400万円

●利用者獲得に向けて、相談支援事業所や支援学校への宣伝活動を行い、1～2名の利用者獲得を目指していく。

※23年度平均稼働率21.5名に対して、人員配置体制加算Ⅲを維持するには8.6人の常勤換算が必要であるが、現在、【常勤専従】5人＋【常勤専従でない】2.5人の計7.5名と下回っている。常勤職員2名をさらに配置する必要がある。

【支出項目特記事項】

●個室スペースの拡張工事 569,800円 ※見積書あり

約40万円は材料費と設置工事費であり、拡張のみの工事であれば、約15万円程度。

●個室スペースのエアコン設置工事 約50万円 ※見積書あり

●タブレット3台 10万円

●身障トイレのウォシュレット設置、洋式トイレ2か所の修理工事 15万円

●フロア設備メンテナンス（蛍光灯・壁・机・椅子等の補修・買い替え） 15万円

### 2. 職員（育成・研修など）

●パート懇談を年3～4回実施。年数の長いスタッフも多く、今まで大事にしてきた方針、目的を理解してくれている。目的を受け継ぎながら、かつ、日頃感じる思いを引き出していけるように活発なコミュニケーションの機会を作る。

●きらり班や各部屋（会議室、スヌーズレン室）の環境整備を行い、障がい特性や活動内容に合わせてメンバーが過ごしやすい居場所作りを目指す。

●リスクマネジメントの意識化として、気づきの発信ができる職員を育成していく。ヒヤリハットへの積極的記載や定期的な再発防止策への振り返りの機会を作る。

●強度行動障がい関連（行動援護従事者養成研修含む）の研修に関しては重度障がい者加算の取得だけでなく、現場実践でも活用していくことを目指し、未受講の常勤職員を中心に受けてもらう予定。

### 3. 事業内容(おもな企画)

- 外出・季節ごとのイベント企画
- 各班会議を実施し、月間スケジュールの作成

#### 年間事業計画(予定)

月	内容	月	内容
4月	花見、祝日事業	10月	前期懇談、ハロウィン企画
5月	祝日事業、外出	11月	祝日事業
6月	外出、モニタリング	12月	クリスマス会、モニタリング
7月	モニタリング	1月	祝日事業、モニタリング
8月	モニタリング	2月	祝日事業、モニタリング、後期懇談
9月	祝日事業、前期懇談	3月	祝日事業、後期懇談

## 2024年度 オガリ作業所(就労継続支援B型) 事業計画書

### 1. 収支(予算)

#### 【予算収入と根拠】2830万円

別事業所への移行者や精神面の不調による欠席増による利用実績数減、積極的な祝日事業の実施や状況に合わせた柔軟なサービス利用を行えるよう在宅利用等の活用等、稼働率向上に繋がります。また各種販売の販路拡大等を行い工賃の向上からの報酬単価向上を目指します。

#### 【支出項目特記事項】

- ・製パン班業務用コールドテーブル…約350,000円(故障による買い替え:設置費含む)
- ・清掃班地下倉庫エアコン…約150,000円(故障による買い替え:設置費含む)

### 2. 職員(育成・研修など)

- ・各班に係る技術面の習得
- ・法人研修及びすみすみ研修の受講
- ・折衝や営業技術及びパソコン操作等の事務作業面の向上

### 3. 事業内容(おもな企画)

- ・各班出張販売及び委託卸販売(販路拡大)
- ・自主製品開発
- ・ボランティア等との企画

#### 年間事業計画(予定)・祝日は可能な限り祝日事業を実施予定。

月	内容	月	内容
4	イベント出店	10	イベント企画
5	イベント出店・WAX	11	
6		12	室内企画・イベント企画・WAX
7	WAX	1	外出企画
8		2	イベント出店・WAX・イベント企画
9	WAX	3	イベント出店

# 2024年度 総セン通所(生活介護) 事業計画書

## 1. 収支(予算)

### 【予算収入と根拠】

※2024年度報酬改定の単位で計算を行う。(①基本報酬(6時間以上～7時間未満) ②食事提供加算 ③人員配置加算(1.5:1) ④重度障害者支援加算 ⑤専門職配置加算 ⑥欠席加算を24年度の報酬体系に計上している)

算出根拠として平均利用者25人、利用者年間 255 日開所(月～金と年末年始以外の月・水・金の祝日開所)を予定。以上で 9500 万円(基本報酬+処遇改善加算+送迎加算+人員配置加算+専門職加算+食事提供加算+重度障がい者支援加算+欠席対応加算)

### 【支出項目特記事項】

- ① エアコンメンテナンス30万 ②器具什器(机・椅子等・家電)30万
- ③ トイレ修繕やドア、パーテーション建物修理費用 120万 ④外出・企画関連 10万
- ⑤ 雑費(環境整備等・車両修理関連) 60万

総計 250万

## 2. 職員(育成・研修など)

・強度行動障害関連(行動援護従事者養成研修含む)を2024年度内に1名を受講する予定である。また正式発表はされていないが、中核的人材養成研修も1名受講予定。

・その他、すみすみ研修等

・防災訓練

・新人職員・異動職員へのOJT

## 3. 事業内容(おもな企画)

・各班で外出(外食)企画

・実践報告会 12月

### 年間事業計画(予定)

月	内容	月	内容
4	花見・OJT	5	GW(祝日事業)・外出事業
6	外出事業	7	外食企画
8	職員研修・お盆・モニタリング	9	モニタリング・懇談会
10	懇談・秋外出	11	秋外出
12	クリスマス会・実践報告会	1	正月企画
2	モニタリング・懇談	3	モニタリング・懇談

## 2024年度 総セン通所（就労継続支援B型） 事業計画書

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】2457万円

慢性的な心身の不調や引きこもり等の長期欠席による利用実績数減、状況に合わせた柔軟なサービス利用を行えるよう在宅利用等の活用、利用者様への利用日数増の提案等、稼働率向上に繋がります。また移動販売の販路拡大等を行い工賃の向上からの報酬単価向上を目指します。

#### 【支出項目特記事項】

- ・べらしお福祉店浄水器フィルター交換等…約80,000円（交換期限です）
- ・べらしお福祉店グリストラップ改修工事…約900,000円（破損しています）

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・大人の〇〇塾継続（リモートとの並行開催も検討）
- ・一般社団法人らぁ祭をはじめ、他企業や他機関、他事業所との連携強化及びネットワーク拡大

### 3 事業内容（おもな企画）

- ・らーめん移動販売（販路拡大）
- ・飲食事業において他店舗とのコラボ営業やコラボ商品の企画販売
- ・プリント事業において転写プリントの導入（商品ラインナップ拡大）

#### 年間事業計画（予定）

- ・祝日は可能な限り臨時営業（らーめん店）を実施予定。

月	内容	月	内容
4	イベント出店	10	イベント出店
5	イベント出店	11	イベント出店
6	イベント出店	12	イベント出店・外食研修・大掃除
7	イベント出店	1	イベント出店
8	イベント出店・外食研修	2	イベント出店
9	イベント出店	3	イベント出店

## 2024年度 大領地域の家であい（生活介護） 事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 予算：8000万円

### 2. 職員（育成・研修など）

法人理念を意識し、目的、目標に沿った事業運営ができるよう、職員間のコミュニケーションを大切にして、利用者支援に努めます。

具体的には、現場でのOJTを中心に職員育成を図ります。また、法人研修や外部研修を通し

て、価値・視野を広げ、実践的な支援スキルを学ぶ機会をつくっていきます。

### 3. 事業内容(おもな企画)

2024年度も企画の充実を図っていきます。前年度は飲食や外出の企画を実施し、利用者からも好評を得ています。前年度の企画を継続しつつ、内容の充実や、新たな企画を実施していきたいと思います。

支援においては、個別支援をさらに進めていきます。個々の強みや興味を活かした個別スケジュールや取り組みをより充実させていきたいと思います。

#### 年間事業計画(予定)

月	内容	1月	正月企画
5月	喫茶企画	3月	後期個別懇談
8月	夏企画		
9月	前期個別懇談		
10月	外出企画		
12月	クリスマス企画		

年間開所日数244日(12月30日開所予定)

## 2024年度 大領COCORO(生活介護) 事業計画書

### 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】 8700万円

COCOROはまだまだ伸びしろがあり、スタッフ体制次第で潜在的なメンバーのニーズに応えることができる上に、収益増の見込みが充分にあると考えています。したがって、スタッフの増員に伴って年度途中の新規メンバーの受け入れも視野に入れております。

【支出項目特記事項】※現場スタッフとの相談のもと、計上しております

●ロベリア(寝台浴)の保全点検費用 【60,600円】

●リハビリ用歩行器購入費用 【70,000円】

※現在、毎月4300円レンタル料金を支払っております。故障はこの5年で一度だけであり、レンタルは割高であると判断した上で購入を検討

●修繕・修理費用 【400,000円】

●環境整備費用 【500,000円】

※パーティション・フロアマット・スタッフの休憩場所整備・経年劣化している備品の新調 新規メンバーの増員に伴う机等

【合計支出金額 ◎約110万】

## 2. 職員（育成・研修など）

一部のスタッフに現場業務のコーディネートと事務的作業が集中している現状があるため、日常業務とのバランスを保ちつつ、研修等のスキルアップに努めていきたいと考えている。同時並行で現場の体制や事務作業も見直しが必要。特にIFひなた班の日常ケースワークに改善が必要であると考えている。具体的には看護的な視点を持った振り返りとリハビリに関する支援体制が不十分である。つなぐ・ひなたの現場職員が日中相互に入れ替わることができる人員配置を構築しつつ、必要なケースワークと簡略化できるものを見極めを行う。現在現場のコーディネートを担ってくれているスタッフ達（奥村、石津、福田の3名）を中心に進めていきたい。また、IFひなたでの介護技術向上を目指し、看護師・理学療法士と密な連携を図れる環境を構築し、全体的にブラッシュアップしていくことを目的に、COCOROスタッフとしてチームで成長を目指す。

●研修等各々の研鑽の環境としては、すみすみ研修や適宜、外部研修への受講を行なう。必要に応じ、事業所見学も実施したいと考えている。

## 3. 事業内容（おもな企画）

- 外出企画：人員体制を考慮した上で実施したいと考えている。
- テイクアウト企画：年1回実施。和洋中など希望別で実施予定。
- ボランティアの積極的受け入れ：パフォーマンスボラを活用し、室内プログラムの充実を図る。
- 季節行事

### 年間事業計画（予定）

月	内容	10月	祝日事業、前期懇談
4月	歓迎会、祝日事業	11月	テイクアウト企画、祝日事業
5月	祝日事業	12月	クリスマス会
6月	パフォーマンスボラを活用イベント	1月	新年会、祝日事業
7月	祝日事業	2月	祝日事業、後期懇談
8月	祝日事業	3月	1年お疲れ様会、後期懇談
9月	外出、祝日事業		

## 2024年度 つみき（生活介護・生活訓練） 事業計画書

### 1. 収支（予算）

#### 【予算収入と根拠】

2024年3月に卒業される方が4名

2024年4月に入学される方が5名（生活介護：3名）

生活介護契約人数：13名・生活訓練契約人数：5名

生活介護 2800万円・生活訓練 970万円

#### 【支出項目特記事項】

外部講師料：ダンス・ヘアメイクなど 29万円

## 2. 職員（育成・研修など）

- ・CAT Kit(感情コントロール) 基礎研修
- ・強度行動障がい者支援者養成研修(基礎・実践)
- ・コンサルテーション年3回 30,000 円 \*質の向上のため

## 3. 事業内容（おもな企画）

職員 3 名になった為活動の時間数を減らす。

月火金は 2 コマ、水木は 3 コマにするため 2023 年に比べて活動を減らせる。

ダンス:外部講師を招きプロから学ぶ機会とする。

心と体:重度と軽度のクラスにわけ学生たちにわかりやすく、興味を引く内容とする

生活:おしゃれや身だしなみから 10 年後の暮らしについて等広い分野で学ぶ

1 年生案:8 種類の活動案の中から 1 カ月に 4 コマの活動の内容を学生たちで決める。

音楽:歌、手話歌、ハンドベル、太鼓など音・歌で表現する活動

実験:学生たちが実験のやり方、必要なものを調べ実験をする活動

家庭科:水分補給の必要性やクッキング・米作りなどそのクラスに合わせて多岐にわたる内容を学ぶ。

ヨガ・スポーツ:体を動かすプログラム

研究:自分が好きなことを調べて突きつめる活動。2 月には自分が調べたものを発表する。

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4月	入学式	12月	クリスマス会
6月	福祉型専攻科合同説明会	1月	おおさか学びの場交流会
7月	オープンキャンパス	2月	研究発表会
9月	つみき旅行企画	3月	卒業式
11月	全国専攻科研究集会		

## 2024 年度 じらふ・泉北(放課後等デイサービス) 事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】収入：2150 万円

【支出項目特記事項】

- ・ipad の買い替えを検討(現在 10 年近く使用)
- ・リース範囲外での車両の整備やメンテナンス費。
- ・防災に関する備品や備蓄品の追加購入。
- ・現在、随所に壁に穴が開いている状態。見積りも含めて、今後修繕を検討する。  
また建物老朽化による水回り修繕(水道の栓が閉まりにくいなど)※オーナーと相談

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・職員体制の変更はない見込みで、引き続き継続した支援スキル向上のための研修(勉強会)、  
リスクや事故予防、感染症対策、権利擁護と虐待防止、防災に関する毎年定例実施の研修

を、法人内研修動画も活用しながら実施する。また、堺市主催の研修(虐待予防など)も活用する。今年度は特に防災関連に力を入れていきたい。

- ・外部研修…すみすみ、放課後連、その他各種団体主催の研修など、スタッフに周知し、希望に応じて参加補償する。
- ・パートさんとの面談、座談会…人事評価も含めてのパートさんとの懇談の時間を設定。日常的な支援についての意見交換、健康面の把握等行う。
- ・その他…①泉北三拠点(じらふ泉北、はびな、るびなす)でスタッフ応援体制を整え、それぞれ現場応援ができるように調整していく。②若い人材確保におけた各大学へのアルバイトやボランティア募集の呼びかけを行う。

### 3. 事業内容(おもな企画)

- ・毎月のおやつ作りは今年度も継続。休日は昼食づくりやイベントなどの企画、長期休暇中の毎日のイベントも継続していく。
- ・はびな祭りや、るびなすも参加する地域のお祭り、るびなすみんなの食堂など、地域向けのイベントにも参加していく。
- ・新しい外出先やイベントの開拓。

#### 年間事業計画(予定)

月	内容	10月	ハロウィン企画
毎月	おやつ作り、創作活動など	11月	みかん狩り@美樹の園
4月	春休み企画、お花見外出	12月	クリスマス企画、年こし企画
5月	GW企画(クッキング、外出など)	1月	初詣、書初め、冬休み企画
7、8月	夏休み企画	2月	豆まき
9月	総合避難訓練	3月	総合避難訓練、春休み企画

## 2024年度 みんなのマーケット るびなす 事業計画書

### 1. 収支(予算)

【予算収入と根拠】 収入) ¥21000 (千円)

#### 【支出項目特記事項】

- ・技術指導料 (千総)

### 2. 職員(育成・研修など)

- ・他部署間交流
- ・千総さんによる 技術、販売指導
- ・必須研修(虐待防止、感染症)
- ・他施設への見学、実習

### 3. 事業内容(おもな企画)

るびなす店舗運営

ジャム製造（製造・検品・梱包・納品）  
 優先調達業務（施設管理 伐採・除草作業） 見積提出済み  
 施設外作業（農園作業補助・墓地清掃）  
 調理企画  
 外出企画

### 年間事業計画（予定）

月	内容		
4月～	ジャム製造 ・ 店舗運営		
5～6月頃	優先調達業務		

今年度の4月のるぴなす主催の地域祭りは工事の影響も鑑みて見送りとなります。  
 2024年3月より惣菜製造、鮮魚販売が中止になる為、利用者さんと共に調理や加工に興味、関心のきっかけ作りとするべく調理企画を実施予定。  
 今年度は事業変更に向けた1年となる為、工賃支給は厳しい見込み。

## 2024年度 はぴな 事業計画書

### 1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】 予算；55,000 千円

### 2. 職員（育成・研修など）

- ・パートスタッフの育成と正職員への登用
- ・重度支援者養成研修受講
- ・PECS、その他の実践報告への参加、発信
- ・清水基金国内・海外研修参加

### 3. 事業内容（おもな企画）

- ・生活介護事業所ではありながらも、「仕事」や「お金」を意識して活動参加する支援、企画に取り組む。（屋外作業の受託、企業からの作業受託〈みんなのマーケットるぴなすとの連携〉）
- ・地域に根差した事業所として「はぴな祭り」の実施。地域への還元、交流を目的に出店やイベント企画を行う。
- ・地域交流と啓発発信を目的に「外食企画」「外出企画」「出張販売会の実施」等の活動を SNS 等を活用し、外部発信しながら実施。

### 年間事業計画（予定）

月	内容	9	はぴな祭り
5・10	生駒山登山	11	バーベキュー
6	外食企画	12	クリスマス
7	カラオケボックスに行こう！	2	荒山公園梅見
8	プール・かき氷	3	いちご狩り